

令和4年度第5回理事会議事録

日 時 令和4年9月28日（水）午後7時00分より

場 所 麻生商店街事務所

出席理事 木村 弘 理事長
佐藤 典子 副理事長
劔物 忍 専務理事
柏崎 辰徳 理事
中村 恵美 理事

欠席理事 生嶋 宏治 副理事長(委任状)
内平 淳一 理事
井上 尚謙 理事(委任状)
加納 洋平 理事(委任状)

事務局 奈良 正彦

会議次第 1、開 会：
2、挨 拶：

議長の氏名 劔物専務理事

定刻に至り、専務理事劔物忍氏開会を宣し、本日の理事会は定足数を満たしたので、有効に成立した旨を告げ、専務理事劔物忍氏が議長となり、議案の審議に入った。

理事長挨拶 特になし

議長 9月13日に三役会を開催し50周年記念事業について話し合った。まず、開催の目的として共通認識したのは、地域の方へ感謝の気持ちを伝え商店街の活性化と安心安全のまちづくりに向けて今後の取り組みにつなぐということでやりましょうということになった。動き出すのに早急に組織を4グループぐらいに分けてそれぞれ担当しましょうという話で、記念誌チーム、記念イベント、記念式典、その他に分けるが、来年の予算で計上するということだが、現状いま駐車場の売り上げも減っていて200万という予算を組んでもできるかどうか分からないということで、その辺が今ははっきりできていないという感じではある。であるので規模を小さくしてやるような感じになるのかな、という感じですけど、例えば式典といっても飲食を伴わない組合員と地域の方向けのお披露目みたいなイメージで、こないだセンターでやったような規模でやるという方向性ですね、グッズにしても前に提案されていた切手だとかクリアファイルだと

かそういうのを作っていくようなイメージです。記念誌に関しては前後するが資料集めは今から初めて完成は2024年の1月をめどということで一応は目標ですね、来年の2023年の12月が50周年ということなんでそれを過ぎた1月には発表したいねということにはなっている。50周年記念事業として、これがメインになるかと思うが、年末商戦に向けて12月の後半に出来たらいいよねという話ですよ、それが商店街としては一番組合店さんに恩恵がある部分だと思うんで、そこをやりたいということです。それはね、また来年になって補助金とか使えるといいんでしょうがそれもちょっと見込みで読めないですからね、どんなのがあるか、使えるか、ということです。4グループということだが、記念誌と記念イベントとグッズということですね。記念誌チームはりあんに委託するところもあるので、典子さんと中村さん、これはもうほぼ決定という感じだと思うんですけど、あと誰かつけるのかどうか、それと記念イベント、これはメインの記念事業ですね、この記念イベントと記念品はセットで、木村理事長と僕とあと何人かついてもらいたい、そっちがメインで人がいるかと思えますんで、記念式典というのはさっき言った感じで生嶋さんとか加納さんがそういうのいろいろノウハウあるだろうということで決まりじゃないですけどしてもらいたいということです。後、内平さん、柏崎さん、井上さんには本人の希望を聞いて組織を作って動いていきたいというところまで話を進めました。それに関してご意見補足とかありますか。

佐藤氏 年末商戦のお楽しみのイベントはだれが中心となって提案とか企画しますか。

理事長 誰か担当が入れば提案してもらって、進めていくには全員になるのではないかな。

佐藤氏 企画をだれがやるのか。

議長 木村理事長に相談しながら僕が事業計画のようなものを作らないと進まないと思うんで。

理事長 これは24年1月になってるけど、来年の12月ぐらいからやればそれも考えなければだめだということだね。

議長 どういう形にするのがいいのか、商店街活性という売り上げアップにつながればいいですよ。

理事長 福引みたいのをやるとなったら補助事業使えそうか。

事務局 来年の選挙のことを考慮すれば、予算決まるのが結構ずれるのではないかな。

理事長 そうすると補助事業目当てというのは難しいということになるのか。福引やるとしてもそんなに大きな金額でやらなくても自分たちの自力でやるのも可能かもしれない。

事務局 多分駐車場の売り上げは上がらないと思う。それで、夏祭りを来年
どうするのか、まだ連町のほうで決まってないと思うが夏祭りは結
構儲かるので、夏祭りで頑張れば規模をどうするかわからないが、
100万ぐらいの売り上げが上げれば、今まではそんなに上がった
ことはない、せいぜい50、60万ぐらいだが、頑張って100万ぐ
らい行ければ記念誌代ぐらいはペイできるかなとも思っている。

議長 僕個人はコロナなんて終わってると思っているのでやりたいが、怖
がってる人多ければできませんもんね。

理事長 コロナが減ってくれば連町もそろそろやるかという声が上がると思
うけど。

事務局 補助事業という話が出たが、補助事業で満額出ることはない、2／
3、まちの活性化については1／2がいいところではないか、特別
の事情があれば増額されたりするが、いずれにせよ持ち出しになる
ので、年間予算としては厳しい、どちらにせよあてにはできない。

理事長 記念誌担当はこれで決めていいのか。委託含めて、資料はつけて、そ
れで一応値段交渉でしょ、結局やり取りしなければだめだと思うが。
管理棟で作業するのも手だと思う。

議長 今いないので、決めれないが、さっき言ったようなイメージでやり
たい。50周年に関してはこんな感じでよろしいか、議場に諮り、全
員の承諾を得た。次に2番の駐車場管理棟の件についてだが、この
間下見してきて三役で話し合いをしまして、募集するにしても電気
の契約状況やまだ置いてある備品の処理をしてからでないと募集は
できないのではないか、と記載があるがこれはあそこを貸し出すよ
うにしたほうがいいという意見を言われているんですが、今すぐそ
ういう風にできないねという話と、もしそうするのであればお金か
けてきちんと整備しなければならないからそれも本末転倒だよ、
ということなんですけど、それで行けば現状で組合員で使ってく
れる人がいればいいんですけど、それでもカメラの管理とかその辺の
問題もある、だから現状だと商店街で使用するのがいいかどうか、
あとは今日の理事会で皆さんのアイデアを募集してみたいというこ
とだったんですが、中村さん、新しい方で何か意見ありましたら。

中村氏 商店街で利用しているのがいいと思います。ただ、家賃がなくなる
ということはどうなんですか。

理事長 今のままでは収入を得るような貸し方は出来る可能性はあんまり思
いつかないんですよ。皆さんの意見でこんなことやって収入あげら
れないかというアイデアがあればそれは検討しなければならないん
だけど、ちょっと思いつかない。

中村氏 いいんじゃない、商店街で使うのが。

理事長 りあんが使うというのもあるが、そんなに収入が得られるようには

ならない。

中村氏 とりあえず来年は記念誌の編集の部屋に使うのがいいかなと思う。
再来年以降考えればいい。記念誌作るのに場所がないから。結構写真とか広げたりするから場所は必要だ。

議長 そうしたら、記念誌に限らず50周年事業の実行委員会というか、
いつでも使えるように活用していくというような感じにしましょう
かね。

佐藤氏 質問だが、出入りは、あそこにあるカギを使うのか。
理事長 カギは回収できるから。
中村氏 商店街管理でいいのではないか。
理事長 それで検討しておきます。
議長 みんなで有効に使ってますよと、そういう風にしましょうか。次回
の理事会で決めましょうか。そうしますか、わかりました。

佐藤氏 記念誌の体裁とか、盛り込む内容とか、そういうのは、案として詰めて、
理事会でこういうものを盛り込んだほうがいいという強い思いがあれば
言っていただいてそれを受けてやるというのはいいけど、どの辺までが
どんな感じかというのがこの間はそこまでいってないからどんなです
かね。

議長 前回の話だと、ざっくり100万かけれるかな、みたいなイメージ
だったけど過去のもの見るともっとすごいですよね。10年を、新しい
感じで写真とかカラフルな、のほうが見るのではないか。文字だけでは
見ないのではないか。

理事長 この40周年の後からの10年をさ、取り組んだ内容だとか、こう
いうことをちょっと、大きなものだけでもいいんだけど。

中村氏 ここ10年に何が取り組んだとかは何を調べればいいのか。
事務局 総会資料がある。それに事業だとか、全部書いてあるんですよね、
会員の増減とか資料になるようなことは、書いてはあるんですよね。

中村氏 資料からピックアップしていくということですか。
事務局 それが一番簡単だと思うんです。
中村氏 りあんに委託するというのはどういう作業を委託するのか。例えば
今の作業を委託するということか。10年間分の総会資料を渡してここ
から事業を書き出してくださいということもできるということか。

理事長 やっぱり時間決めてやらなければならないからその分の人件費
的なものは委託費の中でやってもらうことになる。世間話だけでは
済まないから。

中村氏 写真はピックアップしたやつを探せばいいわけだからまず何をあれ
していくのか、これ全部読まなければならないということですね、
10年間分。

理事長 40周年はまあ、30周年はすごい内容だから、そこまで行くのか内容を濃くするのだったら、そういう中で、その辺までは早めに作らなければ、もう春以降まで決めないと、後はだんだん詰めの作業にいつて夏ごろには印刷屋さんがまとめてくれるようにしていかないと間に合わなくなるから。

議長 柏崎さんはイベントのほうに入っていたきたい。

柏崎氏 承知した。

議長 議案2の審議に入る。議案書記載の内容を確認、審議に付す。

事務局 議事録ずっと作っているが、見に来たのは、山内さんだけ。永倉さんの時からそうなんですけど、議事録は確認していない。去年あたりから議案書、議事録はネット上にあげているが、議事録は原則公開しなければならない、誰でも見れるという状態にしておかなければならないが、そういう状態にしておいたほうがいいのではないかと思っていた。公開するのであれば、パスワードを付けたほうがいいのではないかと。現在はパスワードは設定していないので、アドレスを知っていればだれでも見ることができる状態である。公開するのであればパスワードぐらいは設定しておいたほうがいいのではないかとも思う。

中村氏 パスワード設定して組合員だけに見れるようにすればいい。

議長 一応ワンクッションあったほうがいいのではないかと。組合員さんにはパスワードをお教えしますと、問い合わせがあれば教えると。定期的に変わるとかしておかないと。

事務局 議案書や議事録は、欠席した理事に配布しなければならないが、その作業が結構大変である。

中村氏 こっちがいいということですよ。

議長 僕はそういう風にすべきだと思います。

柏崎氏 紙媒体の議事録は継続するのか。

事務局 紙は継続する。

柏崎氏 例えば僕らは出れないときにここにあれば昨日なに話したのかなと見れるので、すごくありがたい。全員に公開になった時の、組合員という縛りがあるのであれば、パスワード仮にやっただとしても外部に教えてしまう可能性がゼロではないというのがある。組合員はこれまで通りでいいのではないかと。

理事長 組合員は見れるのは見れるが事務所に来てもらう。

佐藤氏 私も柏崎さんに賛成だな。

事務局 もう一点、こういうのをやると組合員が関心を持ってくれるのではないかと、というところもある。

議長 でもそれ、もしか議事録じゃなくてもやりようによっては公式のSNSで第何回理事会があつて、こういう内容で話し合いしましたっ

理事長 　　で、それだけでもやってるんだなって思ってもらえるのではないかな。
商店街通信、というのをやってたよな。あれどのくらいやったっけ、
永倉さんの時だよな。

議長 　　それはSNSを活用するべきなんじゃないかな、議事録まで公開し
なくてもアピールは出来る。議事録公開するのも段階踏んで、この
議事録ならだれが見てもいいよねとみんなが認識していればOKで、
その議事録承認を毎回議題の一つに前回議事録の承認というのがあ
ればそれをみんな承認しないと、OKですというやり取りがないと
見てね、ということになる。

佐藤氏 　　ということは1か月後に前回のをアップしていくということだよな。
議長 　　いや、1週間後にはやってくれるということなんで、それから理事会
で前回議事録の承認で、OKですとかいやあそこちょっとちがった
よという話になる。

佐藤氏 　　それでちゃんとしたアップするのが1か月後だよな、ということ。
議長 　　検証してするのが。

議長 　　いや、アップされてるのをだれでも見れるので、見といてねという
こと。

佐藤氏 　　そしてこれを直してちゃんとしたものにするということでしょ。
議長 　　それ一回それすればせっかく議事録作ってくれているのに誰も見な
いということもないし間違ってたら後であそこ違ったということも
ないし、そういう感じにしてみますか。作業増えるわけではないか
ら。理事がちゃんと議事録に目を通してあってましたということ
を確認するというので、今度議案に前回議事録の承認ということで入
れていきたいと思います。これは決定事項として載せましょう。

中村氏 　　その時に押印は必要なのか。
事務局 　　定款上は記名押印なんです。承認されれば、電子印鑑でもなんとか
なるのではないかなと思う。

議長 　　理事会でOKであればそういう取扱いにします。
議長 　　議題の3番賃金改定の件ということで、審議に入ります。
理事長 　　事務局は、時給950円でどうでしょうかという提案でしょ。
事務局 　　例えば時給950円とすれば年間8万円ぐらいの増加になるよとい
うことだけで、佐藤比呂子さんの業務内容と松山さんの仕事内容と
全然違うのではないかなということもあるので、差をつけたいとい
うのが本音なんです。佐藤さんは扶養に入ってるので、それからあ
まり上げると社会保険に加入させられるという点もあるので、そう
すると逆転するのではないかなという点があるので、そこまで細かく計
算できてないので。

理事長 　　これ違反にならないのか。920円にするなら問題ないということ
か。

中村氏 920円だとしてそれが扶養を超えちゃうかどうかの計算ができてないということか。920円にしなければだめだから時間を減らすしかない。

事務局 今までは社会保険に加入していなかったが、今後は社会保険に加入しなければならなくなるとすれば、果たしてこの金額で逆転しないのかどうか計算できていない。

柏崎氏 社会保険入らないとすれば、時間削るしかない。

事務局 最低賃金は上げなければならない。いろいろ条件が変わってきているが、社会保険に入らなければならない。社会保険加入を考慮すれば950円では足りなくなるかもしれない。しかしそれだけの負担増が今の商店街でできるのかがわからない。

柏崎氏 難しいですね、商店街がダメージを負うか、個人が負うか。

議長 社会保険に入るメリットもあるということでしょう。

事務局 年金が増えるとか。社会保険に入ってもらくと、会社が半分負担しなければならない。

中村氏 商店街としてどうすればいいかということですよね、負担負うのか、時間を減らしてもらうのか、それしかない。

柏崎氏 判断基準がはっきりどれぐらい増えるかというのをわかってからのほうがいいんじゃないですか。

中村氏 とりあえず上げなければならないが、それをいくらにするか。

議長 今後どっちにしたって給与規程とか整備しなきゃならないので、これはもしかしたら致し方ないのかもしれないですね。

柏崎氏 なんかそれを含めた予算を今後はやっていくしかなくなるんじゃないかなと思いますけどね、これが上がるのは当たり前のことというか。

理事長 本人にそう言って話をするしかないんだよな。

佐藤氏 LINEでよければ、こうなりまして、なので950円にしたいと思いますと言っていたらこのメンバーはわかります。

事務局 950円でいいんですか。

議長 いやいや、判断できないねという話。事務局にある程度は、それは委任じゃないけどもするけどその理由を。

〈中略〉

事務局 計算してみて、佐藤さんに聞いてみて、手取りが減らないような金額を出してみるしかないのか。社会保険に入るとして。とりあえず950円をめどに計算してみますか。

柏崎氏 うちは顧問で社労士いるからこういうのは聞いているので何となくわかるけど、細かいのはわかんない。個人個人で、さっきの扶養手当まで考えたら無理で、それは個人でやって、という感じだから商店街として雇う側としてはここまではこうだからどちらか選んでという

しかない。この場で950円と決めて社会保険に入るからこういう風になるよ、しょうがないから、あとは20時間以下にしても手取りが下がる、今までより、ということになる。

事務局 それでは950円で計算して社会保険入った場合どういう風になるのかシミュレーションしてみます。

理事長 それでわかったら説明は私からでもいいし、そういうことにしてそれで検討してみて。

議長 それではこれは事務局のほうにお願いします。

中村氏 松山さんは950円にしますか、それとも920円にしますか。

理事長 松山さんは最低賃金だけ守ってくればいいんだから。

議長 では、議案3についてはそういうことにします。議案4、事務所のインターネット契約を見直したい、これも事務局に説明を求める。

事務局 4ページに現状と見直しした場合の比較なんですけど、資料のとおりとなっている。見直しすると、月に3600円の削減になるのでこれはちょっとやっていきたいなと思っている。

議長 もう1社見積りとったりとかはしないのか。

事務局 商店街は経理上きついんですよね、いろいろ見直ししてるんですけどね。このぐらいしか今のところ出てきてないんですよね、削れるようなところは。社労士の顧問契約も削りましたし、安田先生削るわけにいかないし。

理事長 この書類の下の方の保守に関しては竹内で見ます、というのはどういう意味か。

事務局 竹内という営業マンが担当するということだ。今まで保守なんてやったことない。インターネットなんてわからない。

議長 僕にちょっと説明してもらえませんか、僕が聞きますから。

事務局 剣物さんのほうでやりますか。

議長 説明聞いてもいいですよ。話だけ聞いてみますか。全然いいです。現状の会社はどこか。

事務局 N T Tコミュニケーション、O C Nがプロバイダだ。

議長 では、話聞いてみます、まっとうであればこれを進めたほうがいいと思います。では、報告事項に移ります。議案書に沿って確認、組合員状況、社会貢献事業、地域活性事業とあり、情報発信事業について佐藤氏より報告を求める。

佐藤氏 マップについて、商店街とまちづくり協議会とで経費を出すと話していたが、区からの助成金が出ることになったので、マップ完成の報告等という名称は麻生地区防災マップ作り検討会& A E D講習会となった。センター長からの意見などでメリハリをつけるなど若干の変更があった。15,000枚作成し、11月までにはできるのではないかという状況です。花いっぱいコンテストは10月10日に

ここで審査を行うことになっている。プリントでは応募はない。商店街新報に記事が掲載された。11月15日にSNS講習会を開催する。すべて道振連の経費で賄える。10月4日にユニバーサルのまちづくりという観点で学習会が行われる。女性部の活動は11月15日で一区切りがつきます。りあんのほうは来年度のWAM事業の申請をしている。藤麻人の活動への応援をお願いする。11月7日に麻生発・子どもネットワーク会議を開催する。参加していただきたい。

議長 街区振興事業だが、クーポン券事業が記載のとおりの実績が上がっている。

理事長 使われなかった券はどうなるのか。

事務局 その分補助金が減額される。

佐藤氏 お花、ありがとうございました。9月末で下げようと思ってます。

中村氏 店舗のも回収しに行かなければならない。

議長 以上で第5回理事会を終了します。次回理事会は、10月28日とする。

その他案件を確認し、すべての議案の審議を終え午後9時00分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作り、出席理事がこれに記名押印する。

令和4年9月28日

麻生商店街振興組合理事会

議 長 理 事

劔物 忍

劔物

木村 弘

木村

佐藤 典子

佐藤

生嶋 宏治(欠席)

柏崎 辰徳

柏崎

井上 尚謙(欠席)

中村 恵美

中村

内平 淳一(欠席)

加納 洋平(欠席)